

東日本大震災から7年が経って

平成23年3月の東日本大震災から7年が経過しました。

地震の被害も大きいものでしたが、原発事故による放射能汚染は、私たちの日常生活だけでなく、農作物の風評被害なども影響を受けています。

この間、人口が減り、高齢化がさらに進み、国内の主産地である「桃」や「あんぽ柿」などの生産維持も厳しい状況にあります。

道の駅で交流の場ができ、開設以来の入場者は250万人を超えたと聞きますが、定住人口を増やし、人口減少に少しでも歯止めをかけられればと思います。



吉田 吉夫さん
(第4町内会)

また、町のシンボルの阿津賀志山に、子どもからお年寄りまで誰でも楽しめる遊歩道をぜひお願いしたいと思えます。中腹にある町指定文化財の「阿津賀志山三十三観音八十八大師画像碑群」を巡り信達平野の眺望を楽しみながら、自然豊かでつつじが咲く山のコースを整備してほしいと思います。

9月定例会での一般質問の傍聴者は数名でした。もっと議場に足を運んでいただきたいと思えます。議員の皆さんは、一般質問のために町民の皆さんの声に耳を傾け、現場に足を運び、一問一答で町当局を質します。議会は町の具体的政策を最終的に決定するところ、そしてその運営を監視評価します。議会だよりや報告会などで町民の皆様がもっと関心を持ち、ともにまちづくりを進めていけたらと思います。

29年度の事業の成果を調査

9月定例会会期中の9月6日、平成29年度の決算認定についての議案調査の一環として、平成29年度に行われたおもな事業の成果を確認するため、議員全員で現地調査を行いました。

- ① 滝山団地(1・2号棟) 外壁等修繕工事
- ② 石母田消防屯所新築工事
- ③ 貝田地区県営ほ場整備
- ④ くみに農業ビジネス訓練所施設新築工事・トマト養液栽培施設建設工事



滝山団地の改修された外壁を確認しました

暑かった夏は終わりましたが、西日本の土砂災害、大型台風そして北海道胆振東部地震が発生し甚大な被害を受けました。被災者の方々には心よりお見舞い申し上げます。

9月議会は決算議会ともいわれますが、平成29年度一般会計歳入歳出決算及び各特別会計の決算認定については、慎重審議の結果すべて認定されました。

東日本大震災発生後、当初予算額のピークは平成26年度の130億円(うち除染関連76億円)でしたが平成29年度は56億円と半分以下でした。今後この減少傾向は続くと思われませんが町民の生活に密着した政策は実行していかなければなりません。町、議会、町民ともに頑張りましょう。

(佐藤 定男)

発行責任者

議長 東海林一樹

広報常任委員会

委員長 松浦 和子

副委員長 村上 正勝

委員 東海林一樹

委員 八島 博正

委員 佐藤 定男

委員 井砂 善榮